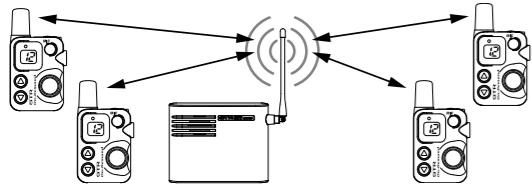


# 特定小電力中継器 EXR100A 取扱説明書

中継器 EXR100A を使用することで、通話エリアを約2倍に拡大することができます。多層階のビルや別棟との連絡、遮蔽物などで電波の届きにくいエリアの通話確保や通話品質の改善ができます。また、本体内部のスピーカーを拡声器として構内アナウンスに使用することができます。



## トランシーバーとの互換性に関して

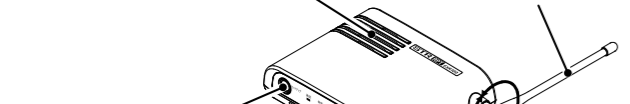
EXR100A とあわせてお使いになるトランシーバーによっては、拡声器機能や CUE 機能など一部の機能が使えない場合があります。

	オンデマンド インカム SRFD10	SRS210/A SRS220/A SR235	SR70A SR100A
中継通話	○	○	○
本機のスピーカーから音声を出力する 構内アナウンス(拡声器)機能	○	×	×
中継機能を使いながら 構内アナウンス機能を使う	○	○	×
全員に合図を送る CUE機能	○	○	×
特定の相手とだけ通話する ホットライン機能	○	×	×

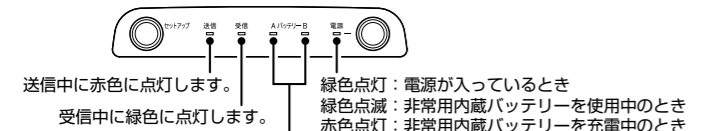
EN029U002 (2209G-DS)

## 各部の説明

**スピーカー** 中継している通話の音声、PA(アナウンス)機能の音声、ピー音などを出力します。音が出ないようにすることもできます。  
**アンテナ** 設置場所にあわせて向きを変えることができます。向きを変えるときはアンテナの根元を持って、矢印の方向に動かしてください。



**セットアップキー** キーを押すだけの「オートセットアップ」で簡単に初期設定ができます。  
・短押し：グループコードを使用する場合  
・長押し：グループコードを使用しない場合  
通常は短押ししてグループコードを使用します。  
**電源キー** 長押しして電源をオン/オフします。



・送信中に赤色に点灯します。  
・受信中に緑色に点灯します。  
・バッテリー A と B の残量を表示します。  
・緑色点灯：まだ使えます  
・赤色点滅：残りわずかです  
・赤色点灯：空になりました。バッテリーを交換してください。  
・セットアップ中は、バッテリー A のLEDがオレンジ色に点灯または点滅します。

Radio Communication Solutions  
株式会社 ジャパンエニックス  
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351  
□ 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700

□ 札幌営業所 □ 名古屋営業所  
□ 仙台営業所 □ 九州営業所

https://www.jenix.co.jp/

営業所住所はこちら▶



## 通話エリアを拡大する中継器として使う

SRFD10でオンデマンドインカムの全ての機能を使用する

### EXR100A を 2 台使用します

#### ● 準備をする

EXR100A は、使用する中継用チャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- SRFD10 のセットモード「**F2 通話モードの設定**」を「**rP**」にします
- チャンネル表示が中継用のチャンネル(表示は 10~18 と 12~29 合計 27 チャンネル)に変わりますので、中継通話をする全ての SRFD10 の A-ch と B-ch を運用するチャンネルにあわせてください。  
A-ch と B-ch の間隔は 5 チャンネル以上離してください。

- SRFD10 が「**A1**」または「**AL**」モードの場合は、A-ch/B-ch のどちらで送信するかを決めます  
A-ch で送信する時：[CUE] キーと [▲] キーを同時に押す  
B-ch で送信する時：[CUE] キーと [▼] キーを同時に押す

- EXR100A の電源を入れます



- EXR100A のセットモード「**レピーターモード**」を「**半復信レピーター**」に設定します  
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の「Wi-Fi を使って各種機能を設定する」を参照してください。

- オートセットアップ機能で EXR100A を設定します。



- SRFD10 を A-ch または B-ch で [アクセス] キーを約 4 秒間押し続けます



続けてもう 1 台の EXR100A の設定を行います  
上記⑦と同じ操作を別のチャンネル(A-ch または B-ch)に設定した SRFD10 を使って設定します  
以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行えます。

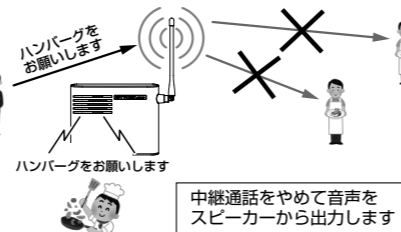
- EXR100A を設置する場所を決めます  
・子機の電波が届きやすい場所  
・障害物や遮蔽物がなく、なるべく高い場所  
・屋内または雨などで濡れない場所 (EXR100A は防水構造ではありません)

- EXR100A を外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます  
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオプションのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。  
別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。

- EXR100A を設置します。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。  
・壁面に固定して設置する  
・マグネットを使って設置する

## 中継機能を使いながら構内アナウンス機能を使う

通常は通話の中継のみを行い、必要な時だけ本機のスピーカーからアナウンスをすることができます。この時の音声は中継しません。



#### ● 設定方法

- 上記の「準備をする」と同じ操作を行い、EXR100A と子機を準備します。

SRS210/A、SRS220/A、SR235、SR70A、SR100Aで使用する(SRFD10ではモード“A”または“b”の単信で使用します)

### EXR100A を 1 台使用します

#### ● 準備をする

EXR100A は、使用する中継用チャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- SRFD10 のモードを「**A**」または「**B**」モードにします
- SRFD10 のセットモード「**F2 通話モードの設定**」を「**rP**」にします  
SRFD10 以外の子機の場合も中継器を使える設定にします。設定方法は子機の取扱説明書を参照してください。
- チャンネル表示が中継用のチャンネル(表示は 10~18 と 12~29 合計 27 チャンネル)に変わりますので、中継通話をする全ての子機を運用するチャンネルにあわせてください。

- EXR100A の電源を入れます



- EXR100A のセットモード「**レピーターモード**」を「**半復信レピーター**」に設定します  
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の「Wi-Fi を使って各種機能を設定する」を参照してください。

- オートセットアップ機能で本機を設定します



- 子機の送信キーを約 4 秒間押し続けます



以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行えます。

- EXR100A を設置する場所を決めます  
・子機の電波が届きやすい場所  
・障害物や遮蔽物がなく、なるべく高い場所  
・屋内または雨などで濡れない場所 (EXR100A は防水構造ではありません)

- EXR100A を外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます  
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオプションのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。  
別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。

- EXR100A を設置します。別紙「設置・取付説明書」をご覧ください。  
・壁面に固定して設置する  
・マグネットを使って設置する

## 構内アナウンス用(拡声器)として使う

EXR100A は中継器としては使用しないで、子機からの音声を本体のスピーカーから出力してお客様の呼出などのアナウンスとして使う、構内アナウンス専用として使うことができます



#### ● 設定方法

EXR100A は、構内アナウンスとして使用するチャンネルにあわせて子機の電波を受信するだけで、構内アナウンスを行うための設定を自動で行えます(オートセットアップ機能)。

- 本機の中継機能は使用しませんので SRFD10 の「**F2 通話モードの設定**」を「**SP**」にします  
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください

- SRFD10 の「**08 PA 機能の ON/OFF**」を「**on**」に設定します  
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください

- SRFD10 のチャンネルを構内アナウンスで使用するチャンネルに設定します  
-1~-9、01~-11 の合計 20 チャンネルの中から選びます  
A-ch/B-ch のどちらでも使用できます

- SRFD10 の [▲]/[▼]/[アクセス] キーを同時に押し続けます  
“cL” が点滅表示したらキーを放します  
SRFD10 の設定は以上です

- EXR100A の電源を入れます



- EXR100A のセットモード「**レピーターモード**」を「**PA 専用**」に設定します  
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の「Wi-Fi を使って各種機能を設定する」を参照してください。

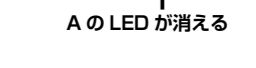
- セットアップキーを短押しします



- SRFD10 の [CUE] キーを短押しします



- A の LED が消えたら SRFD10 の [▲]/[▼]/[アクセス] のいずれかのキーを押します



以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルでアナウンスを行う場合は、電源を入れるだけでアナウンスができます。

- スピーカーの音量は、EXR100A のセットモード「**PA 音量**」で「**1**」~「**5**」のいずれかの数字にします(工場出荷時は「**3**」です)。

- SRFD10 の [CUE] キーを押しながら話します。  
アナウンスが終わったら [CUE] キーを放します。

- SRFD10 のセットモード「**PA 機能の ON/OFF**」を「**on**」にします。  
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください。

- SRS210/220 シリーズや SR235 の場合は「PA 機能」を [CUE] または [ファンクション] キーに割り当てます。  
割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。

- 本機のセットモード「**PA 常時モニター音量**」は「**OFF**」にします。  
パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の「セットモード」を参照してください。

- 本機のスピーカーでアナウンスする時は、SRFD10 の場合は [CUE] キーを押しながら話します。SRS210/220 シリーズや SR235 の場合は「PA 機能」を割り当てたキーを押しながら話します。  
(この音声は中継されません。)

- スピーカーの音量は、EXR100A のセットモード「**PA 音量**」で「**1**」~「**5**」のいずれかの数字にします(工場出荷時は「**3**」です)。

- アナウンスが終わったらキーを放します。

